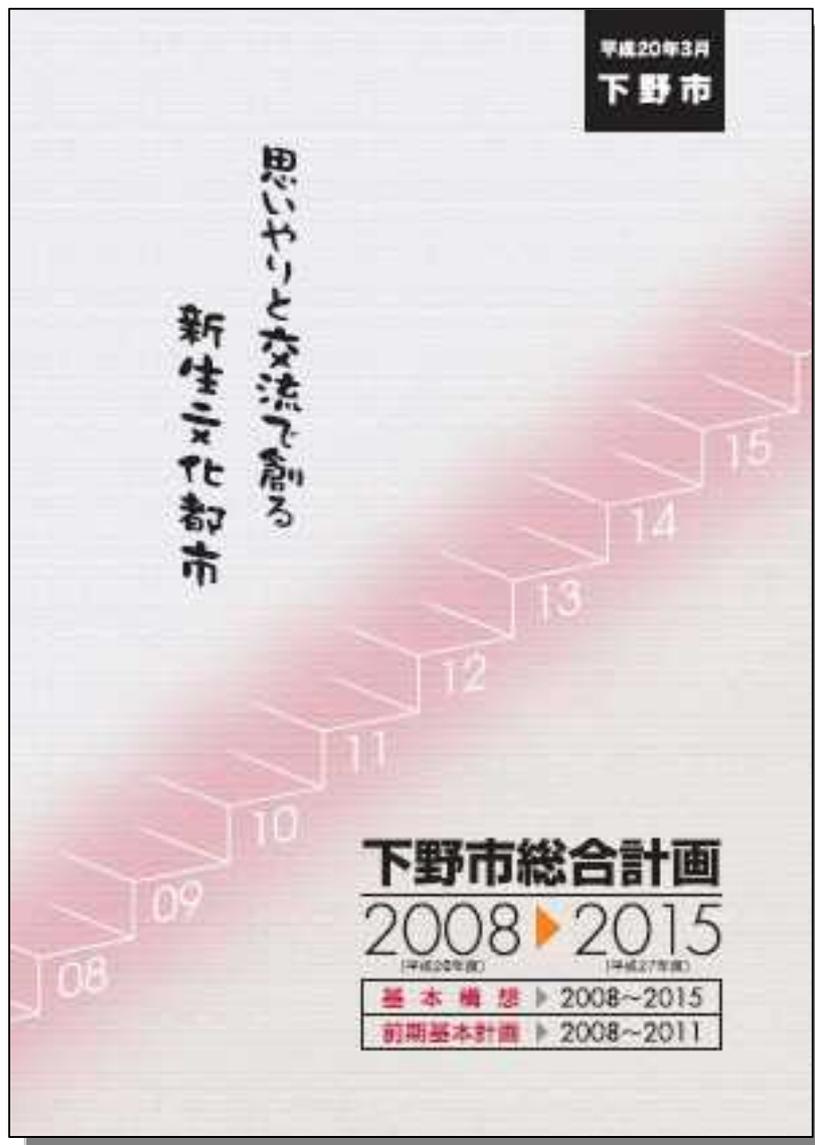


市民懇話会ハンドブック



平成22年11月
下野市総合政策室

目 次

1 . 基本構想・前期基本計画	3
1 - 1 下野市総合計画の全体像	3
1 - 2 基本構想・前期基本計画の内容	4
2 . 後期基本計画の策定方針	5
2 - 1 後期基本計画策定の目的	5
2 - 2 計画策定にあたっての基本的視点	5
総合計画後期基本計画策定のスケジュール	6
3 . 市民懇話会の運営方針	7
3 - 1 委員のみなさんにお願いしたいこと	7
3 - 2 市民懇話会の進め方	7
3 - 3 グループディスカッションの進め方	7
3 - 4 グループディスカッションの基本ルール	8
4 . 市民懇話会の策定スケジュール	9
4 - 1 全体スケジュール	9
4 - 2 グループディスカッションのスケジュール	10
ワークシート	11 ~ 24
市民懇話会委員のみなさん	25

1. 基本構想・前期基本計画

1-1 下野市総合計画の全体像

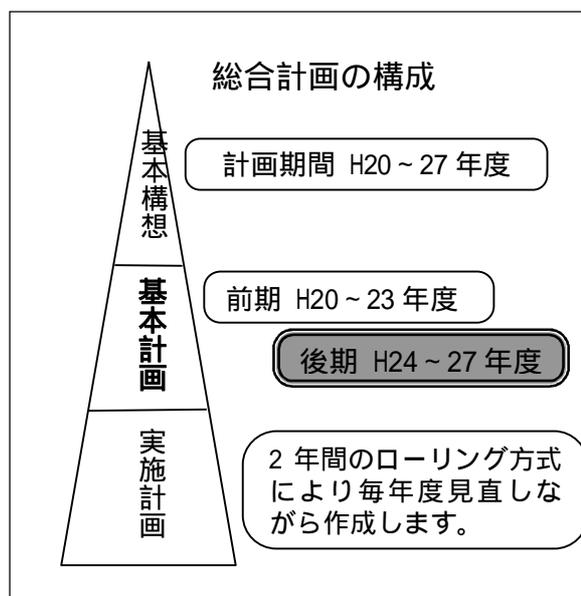
総合計画は、下野市の将来のあるべき姿(将来像)を掲げ、長期的な視点で体系的、計画的に事業を進めていくための計画で、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されています。

基本構想 ... まちづくりの基本理念、将来都市像とそれを達成するために必要な施策の大綱を明らかにするものです。

基本計画 ... 基本構想に示された施策大綱に従って、施策の目的や方針、主要事業などを明らかにするものです。

実施計画 ... 基本計画で示した施策の目的を達成するために必要な主要事業を明らかにするものです。

今年度から策定する後期基本計画(計画期間:平成24年度から27年度までの4年間)では、基本構想の考え方(施策大綱)を受けて、平成24年度からの4年間に下野市で実施していく施策の内容を明らかにすることを目的としています。



総合計画の策定にあたっては、下野市のまちづくりの指針にふさわしいものとするため、次に掲げる視点に基づき、計画が市民共有の目的となるよう策定しました。

新市建設計画との整合の視点

合併後の下野市が、より豊かで活力ある新しいまちとなるための指針として定められた新市建設計画は、南河内町・石橋町・国分寺町合併協議会の協議と合意のもとに策定されたことから、これを尊重し、整合性を図りながら策定しました。

少子・高齢化の進行など、社会情勢・課題などに対応する視点

少子・高齢化の進行に伴う人口構造が変化し、市民の価値観の多様化が進むなど、社会動向が急速に変化する一方、行政においても、国と地方の関係を見直し、地方

分権や行財政改革が進展するなど、地方行政のあり方が大きく変化しています。総合計画においてはこうした社会動向の変化に的確に対応しながら、より魅力的な地域づくりを進めるための長期的な指針としました。

市民参画の視点

市民の共感を得ながら市民本位の視点に立ち、計画策定経過を通じて市民の多様な参加・協働を可能とし、市民と行政の役割分担や施策の優先順位の明確化など、市民に分かりやすく、計画そのものが市民のものとなることを目指した計画づくりを行いました。

1-2 基本構想・前期基本計画の内容

基本構想（平成20年3月策定）

基本構想は、今後の下野市の方向性を示すもので、市の現状と将来の見通しを明らかにし、市の基本理念と将来像を定め、これを反映させるための施策の展開方向を記述しています。そのうえで今後の行政運営の方針と施策の大綱を定め、行政全般の運営と分野別の施策の方向を明らかにしています。

基本構想の計画期間は、平成20年度から27年度末を目標とする8年間とします。

下野市総合計画基本構想では、将来像とその実現に向けた基本目標を以下のように定めています。

- | |
|---|
| <p>【将来像】 思いやりと交流で創る新生文化都市</p> <p>【基本目標】</p> <ol style="list-style-type: none">1 みんなで学び文化を育むふれあいのまちづくり2 知恵と意欲で創造性豊かなまちづくり3 都市と田園が共生する快適な環境で躍進するまちづくり4 安心して暮らせる健康で明るいまちづくり5 豊かな自然と調和した快適で安全なまちづくり6 市民と行政の協働による健全なまちづくり |
|---|

前期基本計画（平成20年3月策定）

基本計画は、基本構想に示された施策の展開方向、行政運営の方針と施策の大綱を踏まえ、今後実施していく施策の内容を明らかにしています。各施策は、施策の大綱にしたがって体系的に示すとともに、個別施策を計画的に進めるための具体的指針を定めます。

前期基本計画の計画期間は、平成20年度から23年度末を目標とする4年間とします。

2. 後期基本計画の策定方針

2-1 後期基本計画策定の目的

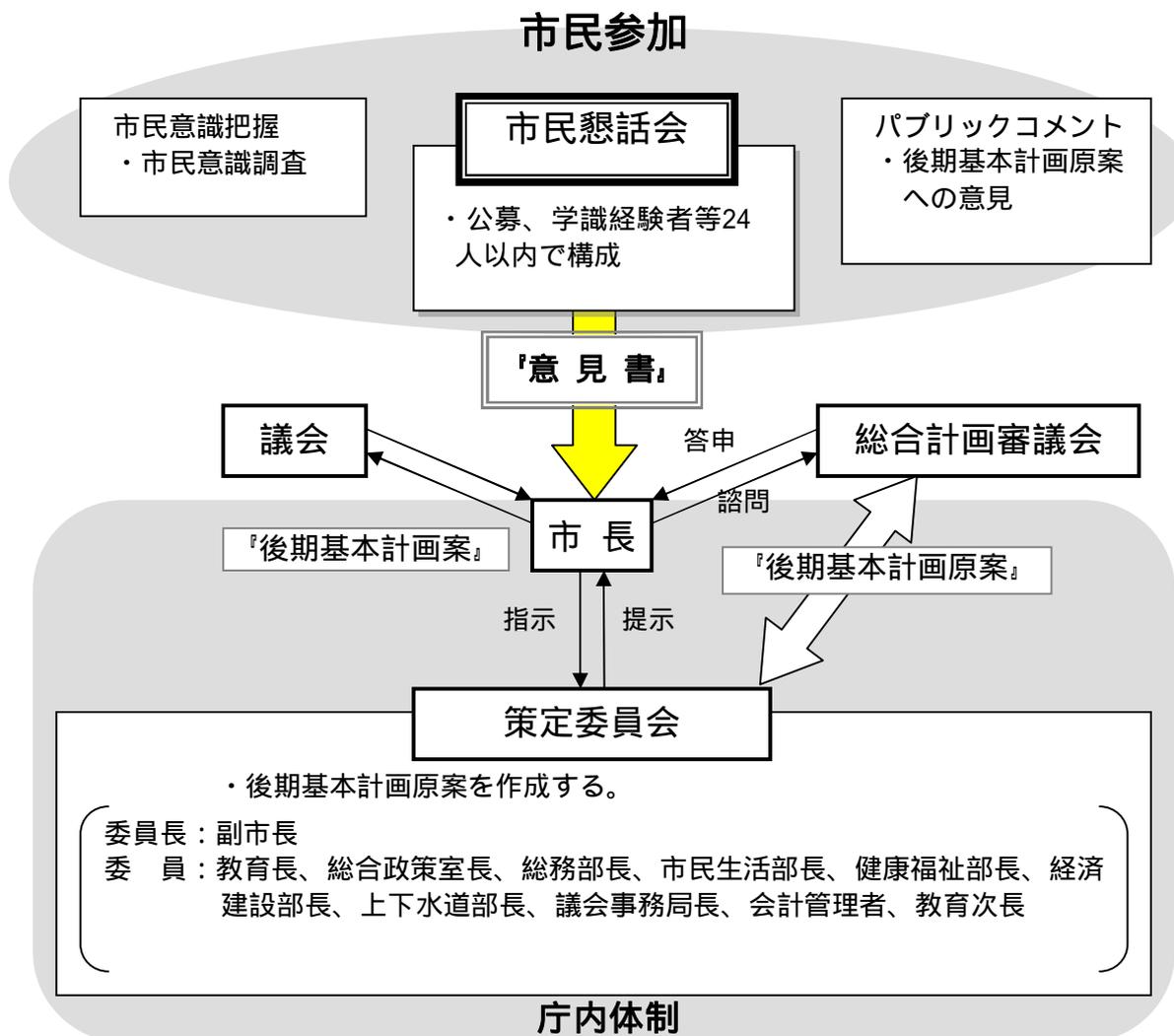
下野市総合計画基本構想に掲げた将来像「思いやりと交流で創る新生文化都市」を実現するため、市民協働による検討に基づき、平成 23 年度を目標年次として、平成 24 年度からの施策方針・主要事業などを位置付け、本市のまちづくりを総合的・計画的に進めることを目的とします。

2-2 計画策定にあたっての基本的視点

後期基本計画の策定にあたっては、策定済みの基本構想・前期基本計画の内容を踏襲します。

また、前期基本計画の進捗状況を庁内で整理するだけでなく、全国的な動向や市民意向を考慮して、平成 24 年度以降 4 年間の施策方針・主要事業などを位置付けます。

下野市における総合計画の策定体制



総合計画後期基本計画策定スケジュール

		H22												H23															H24		
		8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3										
		総合計画懇話会					第1回			とりまとめ (第5,6回)																					
				← 討議 (第2~4回)			→ 意見書提出 (第7回)																								
策定委員会等	市民意識調査	← 配布・回収		→ 集計・分析																											
	策定委員会	← 市内策定委員会の開催 (前期基本計画進捗状況調査実施 等)						→ 随時			← 市内策定委員会の開催 (原案作成 等)						→ 随時														
	後期基本計画案の作成													← 原案作成						→ パブコム			← 計画書概要版レイアウト案作成			→ 議会報告					
総合計画審議会														← 全5回						→ 第5回 答申											

3. 市民懇話会の運営方針

3-1 委員のみなさんをお願いしたいこと

平成 24 年度からを計画期間とする総合計画後期基本計画の策定に際して、委員のみなさんが自ら議論を重ねながら策定に関する意見などをまとめ、市長に意見書を提出します。

3-2 市民懇話会の進め方

- ・委員のみなさんが活発に議論していただけるよう、各種支援を行いながら会議を運営します。
- ・会議の際には、当ハンドブックを毎回ご持参ください。各回の資料については、必要に応じて別途配布します。

3-3 グループディスカッションの進め方

1. グループディスカッションについて

- ・市民懇話会では、第 2 回から第 4 回までテーマを決めて議論をしていきます。
- ・委員のみなさんのご意見をできるだけ多く頂戴し議論を深めるため、2つのグループに分かれて議論をしていただきます。
- ・グループ編成については、毎回事務局で調整させていただきます。

2. 各回の進め方

1) 全体会議（当日の議論テーマの説明）

- ・全体で、当日の議論のテーマについて確認します。
- ・事務局からそのテーマに関する基本構想、前期基本計画での取り組みなどについて説明します。

2) グループディスカッション

- ・各グループで、毎回お一人リーダーを決め、リーダーの方に司会進行、意見のまとめをお願いします。
- ・懇話会会長は、2つのグループを回って、必要に応じて議論にも参加していただきます。

3) 全体会議（各グループの議論内容の報告と意見交換、まとめ）

- ・懇話会の後半で再度、全員で集まり、会長の進行のもとで、各グループの議論内容を発表し、意見交換します。
- ・これを踏まえ、会長が懇話会の意見として整理します。

3-4

グループディスカッションの基本ルール

委員のみなさんが活発かつ有意義に議論ができるよう、基本ルールを定めます。基本ルール(案)は、委員の皆さんのご意見により改良します。

普段の生活で感じていることを率直に語り合きましょう。

委員はすべて平等の立場にあり、自由な発言を行なうことを基本としましょう。

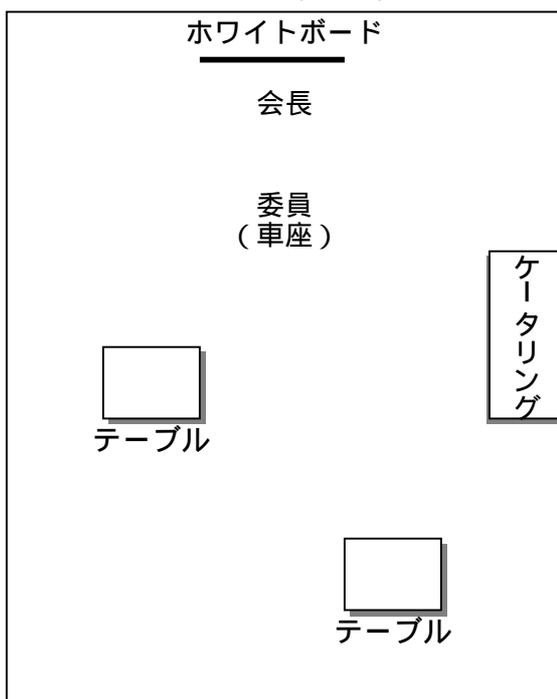
特定の個人や団体等の誹謗中傷となる発言は避けましょう。

様々な立場の市民の方が参加しています。それぞれの発言を尊重し、始めから否定することのないよう、配慮しましょう。反対意見がある場合は、理由を示すように心がけましょう。

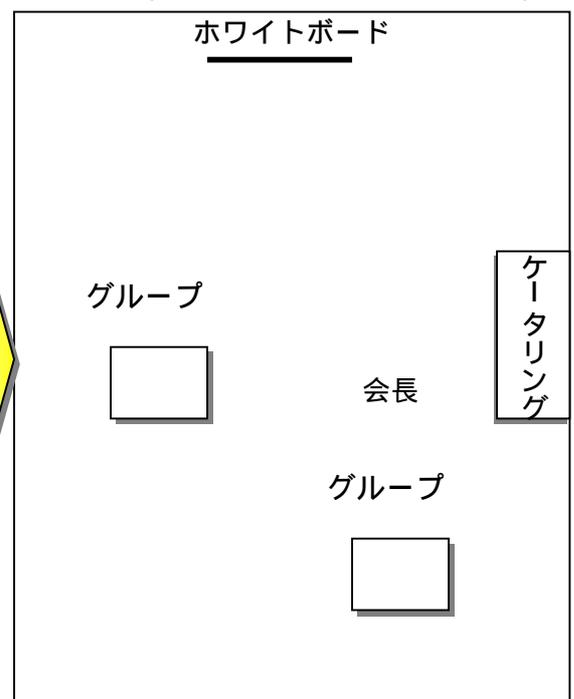
議論が活発になるよう積極的に発言しましょう。ただし、他の委員が発言しているときは、しっかり聴きましょう。

多くの委員が発言できるよう配慮して、発言が長くないように注意しましょう。

会場図(全体)



会場図(グループディスカッション)



4. 市民懇話会の策定スケジュール

4-1 全体スケジュール

	日 時	会 場	内 容	備 考
第1回	11月18日(木) 午後1時30分～	きらら館 研修室	委嘱状交付 オリエンテーション	
第2回	11月30日(火) 午後1時30分～	きらら館 研修室	グループ討議	
第3回	12月7日(火) 午後1時30分～	ゆうゆう館 会議室	グループ討議	
第4回	12月20日(月) 午後1時30分～	ゆうゆう館 会議室	グループ討議	
《グループ討議の意見取りまとめ》 約1ヶ月間				
第5回	未定	未定	意見集約	
第6回	未定	未定	意見集約	
第7回	未定	未定	意見書提出	

第5回以降の日程等については、グループ討議の意見取りまとめの進行具合等を考慮のうえ調整し、改めてご連絡いたします。

4-2 グループディスカッションのスケジュール

	現状と課題	現状と課題	課題への対応
生活基盤 の分野	第2回 11月30日		第4回 12月20日
都市基盤 の分野			
福祉・保健・ 医療の分野			
教育・文化 の分野	第3回 12月7日		
産業の分野			
行政の分野			



前回の総合計画懇話会グループ討議の様子

第1回【総合計画について学びます】

「オリエンテーション」

平成22年11月18日(木) 13:30～ きらら館研修室

主な内容

1. 委嘱状の交付を受けます。
2. 自己紹介を行います。
3. 事務局から説明を受けます。

総合計画について

市民懇話会の位置づけと進め方について
後期基本計画の策定体制と策定プロセスについて
市民懇話会の進め方について

下野市総合計画(基本構想、前期基本計画)の内容について
基本構想について
前期基本計画について

市民意識調査結果について

4. グループに分かれ、次回からのグループ討議の演習を行います。
5. 事務局から次回の活動内容について説明を受けます。

第2回【下野市の課題について考えます①】

「現状と課題①」

平成22年11月30日(火) 13:30～ きらら館研修室

主な内容

1. 全体で下野市の現状(「生活基盤」, 「都市基盤」, 「福祉・保健・医療」の分野)について事務局から説明を受けます。
2. グループ討議を行います。
下野市の現状について話し合います。
現状から導き出される課題について話し合います。
グループの意見をまとめます。
3. グループごとにまとめた意見を発表し、情報の共有を行います。
4. 事務局から次回の活動内容について説明を受けます。

グループ討議の流れ<時間は目安です>

事務局で編成したグループごとにテーブルへ移動し、役割を決めます。<10分>
「リーダー」, 「発表係」, 「時間計測係」

リーダーが中心となり、話し合います。<100分>

下野市の現状について事務局から説明を受けた中で、各々気になった現状を付箋に記入し、意見交換をしながら出された現状について、分野ごとにまとめます。

分野ごとにまとめた現状について、それぞれどんなことが課題となっているのか付箋に記入し、意見交換をしながらまとめます。

模造紙を使って付箋を整理します。

グループごとに、どんな現状で何が課題と考えられるのか発表します。<20分>

第3回【下野市の課題について考えます②】

「現状と課題②」

平成 22 年 12 月 7 日（火）13:30～ ゆうゆう館会議室

主な内容

1. 前回の会議内容を振り返ります。
2. 全体で下野市の現状（「教育・文化」、「産業」、「行政」の分野）について事務局から説明を受けます。
3. グループ討議を行います。
下野市の現状について話し合います。
現状から導き出される課題について話し合います。
グループの意見をまとめます。
4. グループごとにまとめた意見を発表し、情報の共有を行います。
5. 事務局から次回の活動内容について説明を受けます。

グループ討議の流れ＜時間は目安です＞

事務局で編成したグループごとにテーブルへ移動し、役割を決めます。＜10分＞
「リーダー」、「発表係」、「時間計測係」

リーダーが中心となり、話し合います。＜100分＞

下野市の現状について事務局から説明を受けた中で、各々気になった現状を付箋に記入し、意見交換をしながら出された現状について、分野ごとにまとめます。

分野ごとにまとめた現状について、それぞれどんなことが課題となっているのか付箋に記入し、意見交換をしながらまとめます。

模造紙を使って付箋を整理します。

グループごとに、どんな現状で何が課題と考えられるのか発表します。＜20分＞

第4回【今後どうしたらいいのか考えます】

「課題への対応」

平成 22 年 12 月 20 日（月）13:30～ ゆうゆう館会議室

主な内容

1. 前回の会議内容を振り返ります。
2. 前回までに出された課題について事務局から説明を受けます。
3. グループ討議を行います。
課題への対応について話し合います。
グループの意見をまとめます。
4. グループごとにまとめた意見を発表し、情報の共有を行います。
5. 事務局から次回の活動内容について説明を受けます。

グループ討議の流れ＜時間は目安です＞

事務局で編成したグループごとにテーブルへ移動し、役割を決めます。＜10分＞
「リーダー」、「発表係」、「時間計測係」

リーダーが中心となり、話し合います。＜100分＞
前回までに出された各課題に対して、課題解決のためにはどんな対応が必要と考えられるか付箋に記入し、意見交換をしながら課題ごとにまとめます。

模造紙を使って付箋を整理します。

グループごとに、各課題を解決するためにどんな対応が考えられるのか発表します。＜20分＞

第5回【グループディスカッションを振り返って・・・】

「意見の取りまとめ①」

平成23年1月 日() : ~

主な内容

1. 前回までに出された現状と課題、課題への対応に基づいて取りまとめた意見書(案)について事務局から説明を受けます。
2. 意見書(案)の内容の確認をします。
3. 事務局から次回の活動内容について説明を受けます。

第6回【最終確認をします】

「意見の取りまとめ②」

平成 23 年 2 月 日 () : ~

主な内容

1. 前回の意見を受け、修正・追加等した部分について事務局から説明を受けます。
2. 意見書の最終確認をします。
3. 事務局から次回の活動内容について説明を受けます。

第7回【期待を込めて・・・】

「意見書の提出」

平成 23 年 3 月 日 () : ~

主な内容

- 1 . 市長へ意見書の提出を行います。



総合計画懇話会の提言書を手渡す陣内会長

市民懇話会委員のみなさん

	氏名	備考	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
1	陣内 雄次	宇都宮大学教育学部教授							
2	細川 剛規	石橋商工会 青年部長							
3	吉田 武雄	下野市認定農業者連絡協議会副会長							
4	尾花 重吉	下野市自治会連絡協議会 会計監査							
5	海老原新子	下野市ボランティア連絡協議会 副会長							
6	松本 文男	下野市 PTA 連絡協議会会長							
7	山口 和男	下野市体育協会 副会長							
8	加藤 芳江	下野市女性団体連絡協議会 会長							
9	鈴井 祐孝	下野市を元気にする会							
10	石島 勇	公募委員							
11	木村 保弘	公募委員							
12	大橋 正明	公募委員							
13	今井 清起	公募委員							
14	大塚 博	公募委員							

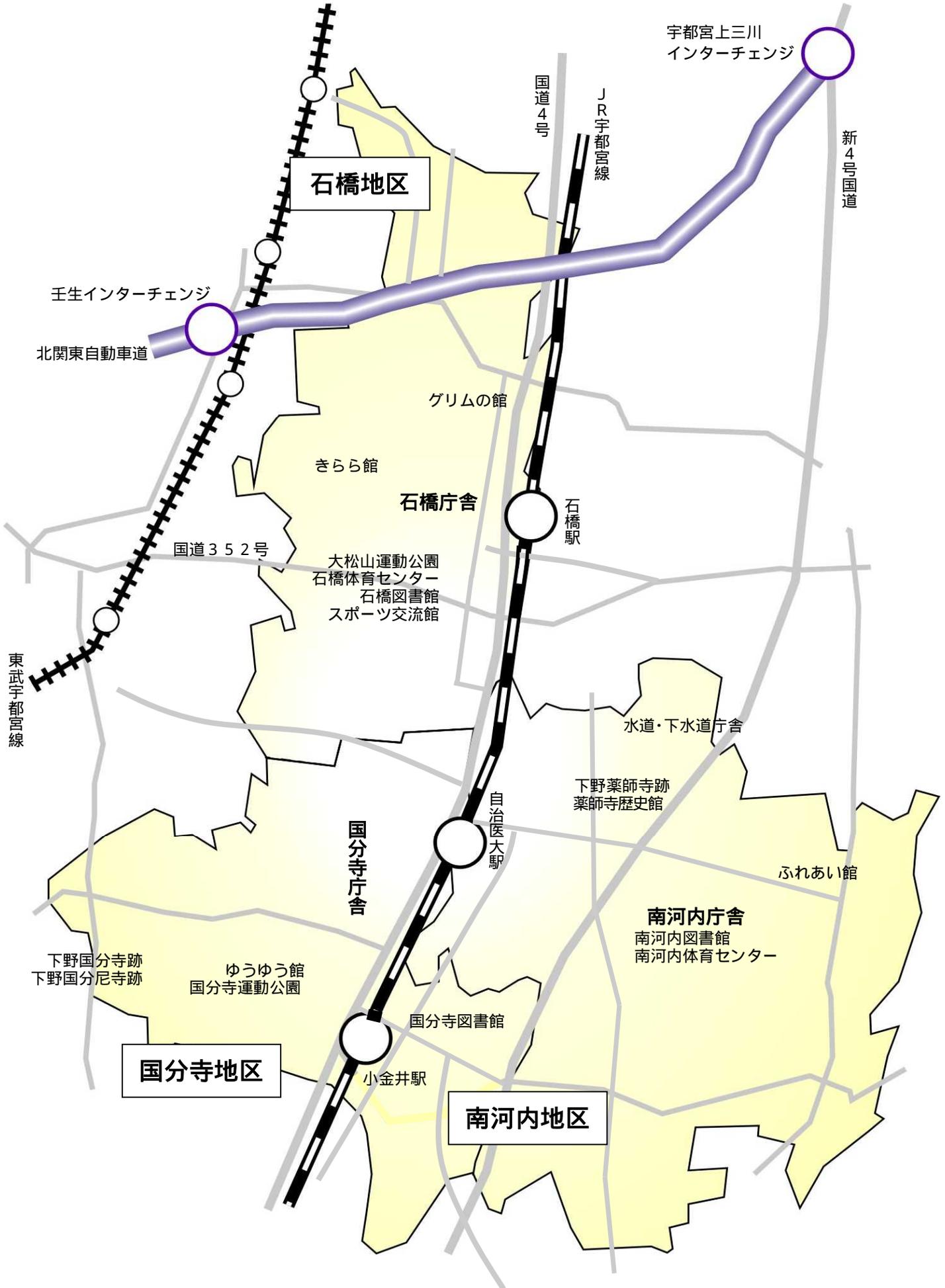
欠席される場合は、事務局までご連絡ください。

総合政策室 0285-40-5550

第2回から第4回まではグループディスカッション形式で進めます。

各回とも事務局でグループ分けをしますので、欠席される場合は会議前日までに必ずご連絡ください。

下野市内施設等概略図





下野市

下野市役所総合政策室
政策推進グループ
0285-40-5550